

大地震津波避難訓練実施 10月16日(日)

9月21日(水)に「県内死者 推計最大7,100人」「久慈市4,400人」数字が太字で報道され、県は最大クラスの地震・津波が発生した場合の被害想定を公表しました。

県では3月に海底の地形を最新のデータで分析し、堤防の全破壊等「最悪の事態」を想定し、「浸水想定区域」を策定しました。

久慈市役所で想定される浸水深の最大は5.3mから6.85mと1.5m以上深くなりました。

日本海溝(東北沖)巨大地震・津波で久慈市の「死者推計最大4,400人」「全壊棟数8,300棟」となりました。(想定:最大震度6強・冬の夕方)

達増県知事は「一人一人の避難意識の向上や迅速な避難などで人的被害を大幅に減らすことができる、県と市町村が力を合わせて対策する」としています。

久慈市でも「今年中に総合防災ハザードマップを更新」、「全地区に自主防災会の結成を目指す」「10月16日に市民参加の津波避難訓練を行う」等生命を守る対策を行うこととしています。

16日(日)の避難訓練は晴天無風の好天に恵まれ、新たな浸水深により今回から「柏木地区」も加わり実施され、7時30分に震度6弱の地震発生し、33分に大津波警報が防災無線、エリアメールで発表、直ちに避難指示が発令されました。

避難指示発令の放送に伴い、避難する方々は急ぎ足で避難場所の小久慈小学校と小久慈焼陶芸苑に向かいました。

避難場所の小久慈小学校校庭には上柏木、幸町などからの避難者が有り、幸町自主防災会では、小久慈小学校に通ずる避難経路8箇所に各々2名ずつ誘導員を配置し、避難する地区民の安全確保を図りました。

小久慈焼陶芸苑には、下柏木、大平、新築町などからの避難も、避難者の数は下記の通りです。

地区	避難場所
大平	小久慈焼陶芸苑駐車場
幸町	小久慈小学校・小久慈焼陶芸苑駐車場の近い方
柏木	陶芸苑駐車場の近い方

※避難状況(久慈市発表)

小久慈小学校校庭 60名

小久慈焼陶芸苑駐車場 51名

まちづくり協議会では、避難場所の小久慈小学校校庭には鹿糠勇会長、小久慈焼陶芸苑駐車場には熊谷正男副会長、佐々木るみ子財務委員長がサポータービブスを着用し激励に派遣し、大久保勝男広報委員長が避難状況の取材を行いました。



幸町自主防災会誘導員が避難者の安全を見守る



小久慈小学校校庭での閉会式



卓球 ひまわりチーム

ひまわりチーム(馬内エイ子代表)は、15年前15名のメンバーで「ジジババ会」という名称でピンポンを始め、今はサークル名を変え「ひまわりチーム」として続いているサークルです。

現在メンバーは10名で、毎週水曜日の午後市民センターで活動しています。

ラジオ体操で身体をほぐしピンポンで汗を流し、休憩時にはメンバーの楽しい会話で盛り上がり、心身共にリフレッシュしています。

コーチ無しで自分流のピンポンですが、ラリーが出来るだけ続いて卓球台から玉が落ちないように今より上手く返せるようにと、皆でピンポンを楽しんでいるひまわりチームです。



小久慈パークゴルフを楽しむ会 10月16日(日) 結成20周年記念大会開催

小久慈パークゴルフを楽しむ会(会長:鹿糠辰美)は今年で結成20周年を迎えることから10月16日好天の大野パークゴルフ場で記念大会を開催しました。

当日は避難訓練を行ってからの参加者もありました、また、日頃会員と共にプレーを楽しんでいる小久慈以外からの参加者も含め54名が出場しました。

試合は14の組に分かれ4コースでプレー、選手達は昨年購入したおそろいの赤いジャンパーを着てプレー開始、ナイスプレーに思わずガッツポーズや歓声も聞こえ、長内町や山形町からの参加もあり交流を深めながら思う存分パークゴルフを楽しみました。

また、地元企業佐幸本店様の協賛も戴き参加者には豪華な賞品や参加賞が用意されて大いに盛り上がった結成20周年記念大会となりました。

同会は、平成15年に15人の会員でスタート、パークゴルフ人気もあり現在37名がパークゴルフを楽しんでいます。また、同会は市民体育大会で毎年優勝争いをする強豪で、今年の市民体パークゴルフ競技で優勝を飾りました。



女子の部 第1位:道合カツ子さん(中) 第2位:元木沢カツさん(長内・左) 第3位:八屋ひろ子さん(右)



プレー開始-注目の第1打



男子の部 第1位:鹿糠辰美さん(中) 第2位:成田晃彦さん(左) 第3位:谷崎功さん(右)